



小樽市長 森井 秀明



第65回全道身体障害者福祉大会が、道内各地から多くの会員をはじめ関係者が参加され、ここ小樽市において開催されますことに、地元を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、これまで、障がいのある方もない方も共に生きる社会の実現に向けた様々な取組みを進め、北海道における障がい福祉の向上に大きく寄与されているところであり、今年で65回を迎えられたことに、深く敬意を表する次第であります。

障がい福祉を取り巻く情勢といたしましては、平成25年4月に施行された障害者総合支援法の一部を改正する法案が、本年5月に国会で成立し、平成30年4月施行予定となっております。また、本年4月の障害者差別解消法の施行により、不当な差別的取扱いの禁止や障害特性に応じた様々な配慮への取組みが一層推進されることとなります。

当市におきましても、「小樽市障害者計画」を策定し、様々な分野での施策に取り組んでいるところであり、今後とも、市民や関係機関の皆様と連携しながら、障がい福祉施策の推進により一層努力してまいりたいと考えております。

また、昨年10月には「小樽市総合戦略」を策定し、「訪れる人を魅了し暮らす人には優しい市民幸福度の高いまち」を将来都市像として掲げました。本市には、訪れる人を魅了するたくさんの歴史的建造物や運河、また、海と山に囲まれた豊かな自然環境など多くの観光名所に恵まれておりますので、本大会に参加される皆様におかれましては、大会の合間に、ぜひ、小樽の街並みや、新鮮な海の幸などを堪能いただければ幸いに存じます。

終わりに、本大会の成功と、参加された皆様のますますの御健勝と御多幸を心から御祈念申し上げますとともに、開催にあたり御尽力、御支援をいただきました皆様に、心から感謝とお礼を申し上げ、歓迎の言葉といたします。